

WILL受注出荷 IP進捗 Ver4.4.2リリース説明書

世界のお客様にモノづくり視点による全工程のソリューションを提供し新たな板金市場を創造する

※本バージョンは機能追加バージョンとなります。

- 第1版 -

2025年2月13日

株式会社アマダ
株式会社ケーブルソフトウェア

(1) 親部品の着手条件(①子部品の最終工程完了、②子部品の作業完了)を追加しました。
※親部品が誤って着手できないようにしました。

(2) 不良入力の登録ボタンが画面下部にあった為に
誤って保存しないで終了してしまうケースがありました。
画面上部(カメラボタンの左)に登録ボタンを移動しました。



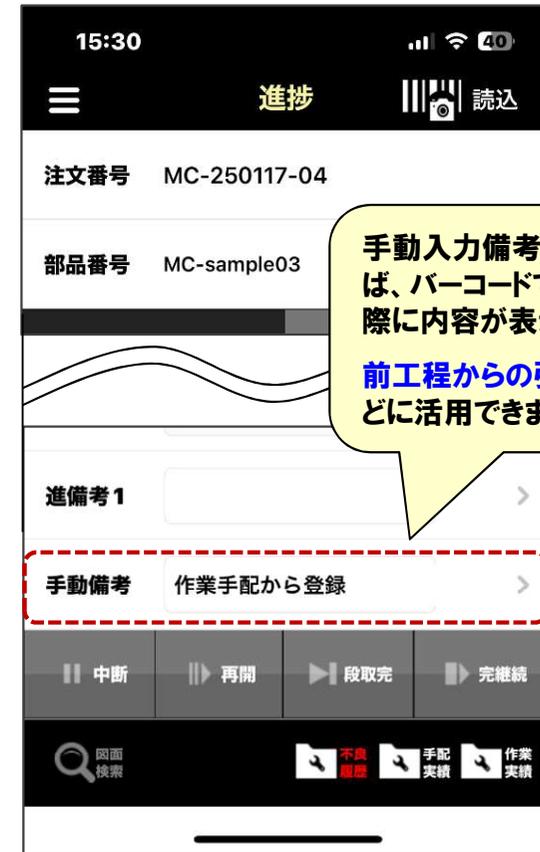
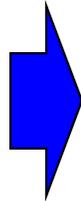
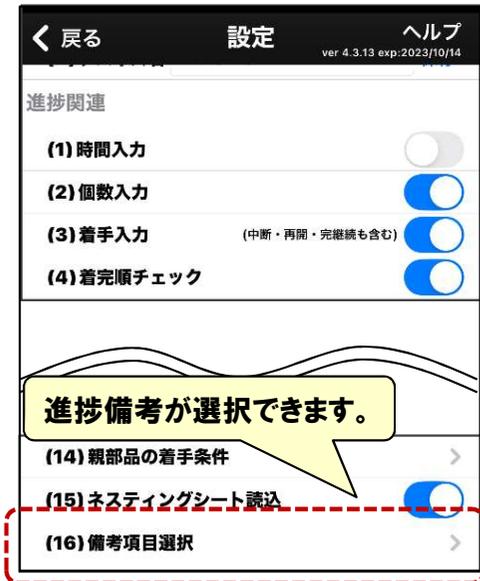
(3) 不良履歴、手配実績/作業実績を参照できるモードを整理しました。

モード	不良履歴	手配実績	作業実績	備考
進捗	○	○	○	
間接	×	×	○	品番が無いので参照不可
完了	○	×	○	
出荷	○	×	○	
受注進捗	○	○	○	

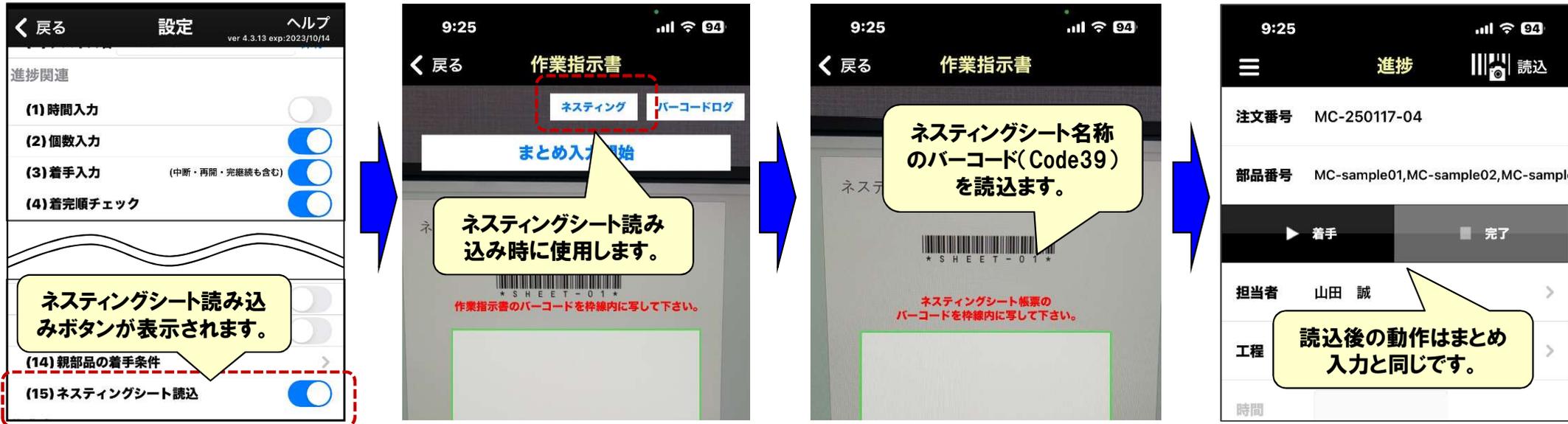
(4) ワーニングメッセージを変更しました。

- ・完了処理後に再度作業指示書バーコードを読込ませた時のメッセージ
※ (データがDBに登録されていません) → (既に完了済みです)
- ・出荷処理後に再度作業指示書バーコードを読込ませた時のメッセージ
※ (データがDBに登録されていません) → (既に出荷済みです)

(5) 進捗モードで、手動入力備考の入力と表示ができるようになりました。



- (6) 進捗モードで、ネスティングシート名称のバーコード読込が可能になりました。
 ※ネスティングシートに配置されている部品を一括で進捗実績に登録できるようになりました。



- (1) 出荷モード:受注IDを読込ませた際、不良履歴が正しく登録されない問題を修正しました。
- (2) 受注進捗モード:作業手配をしていない受注IDを読込ませると「データがDBに登録されていない」のメッセージが表示される問題を修正しました。
- (3) 受注進捗モード:入力した進捗情報が作業実績に表示されない問題を修正しました。
- (4) 設定:自動工程選択機能がONの場合、進捗キットで第1工程を着手完了後、iP進捗でバーコードを読込ませると第1工程が選択されてしまう問題を修正しました。
- (5) iOSの設定→一般→言語と地域→暦法を和暦に設定すると、出荷日が「0006年」と表示され、作業完了・出荷処理ができない問題を修正しました。
- (6) 出荷モード:子部品がある製品で、親部品の作業指示書バーコードを読込むと「同じIDが2つ以上存在」と表示、出荷できない場合がある問題を修正しました。(一部環境)
- (7) 出荷モード:まとめ手配した作業指示書バーコードで出荷処理を行うと、片方しか出荷処理ができない問題を修正しました。
また、1つの作業手配に対して2つ以上の受注IDが存在する場合は「まとめ手配では出荷できません」のメッセージを表示するようにしました。

- (8) 間接モード:担当→工程選択→着手→完了(完了時に時間入力)の操作で進捗入力ができるよう修正しました。
- (9) 進捗モード:完了を入力するタイミングで「個数」の入力欄がグレーアウトし、入力できないことがある問題を修正しました。(バーコード読込後、工程を再選択した場合)
- (10) 進捗モード:作業手配IDが7桁の場合、バーコード読込後に工程を変更しても、選択した工程の着手状態が再現されない問題を修正しました。
- (11) 進捗モード:まとめ入力で工程を変更しても、選択した工程の着手状態が再現されない問題を修正しました。
- (12) その他、小規模な不具合を改善しました。

Ver4.4.2の動作環境

1) Ver4.4.2動作環境は、**サーバ側ファイルの更新が必要です。**

ServerVerは4.4.2となります。(Version.txt参照) ※複数のファイルが更新となっています。

※WILLサーバのC:\ASIS100\C_able\WillOrderStatus(標準環境)配下のファイル差し替えをお願いします。

※web.configファイルの差替えはありません。(Ver4.2.6のWeb.configファイルはそのまま使用可能)

2) iP進捗Ver4.3.13動作環境(サーバ環境)で、Ver4.4.2は基本動作しますが、一部機能は改善されません。

iPServUpdate (旧Willupdate)について

<概要>

iP進捗のサーバアップデートは、iPServUpdate.exeで対応しております。
旧バージョンのWillupdate.exeでも動作します。

1) サーバアプリ更新ツールが新しくなりました。

実行モジュールの使い方は同じです。

旧 : Willupdate.exe

新 : iPServUpdate.exe

2) iPServUpdate.exeはweb.configファイルも自動更新します。

※マスターファイルのweb.configに記載されている[ユーザアカウントとパスワードを自動的に書換えます。](#)

<動作環境>

1) iPServUpdate.exeの動作環境はWillupdate.exeと同じです。

お客様DBサーバのWillupdate.exeと同じフォルダーにコピーしてください。

<その他>

1) iPServUpdate.exeによる更新は、iP進捗Ver4.4.2のアップルストアリリース後、利用可能となります。